

札幌市のごみの現況

1. 「新ごみルール」開始後1年のごみ量

「新ごみルール」以降の収集ごみ量について、前年度の同期間（7月～6月）と比べて、「燃やせるごみ」は36%減、「燃やせないごみ」は74%減となっており、廃棄ごみ全体としては41%減となっています。

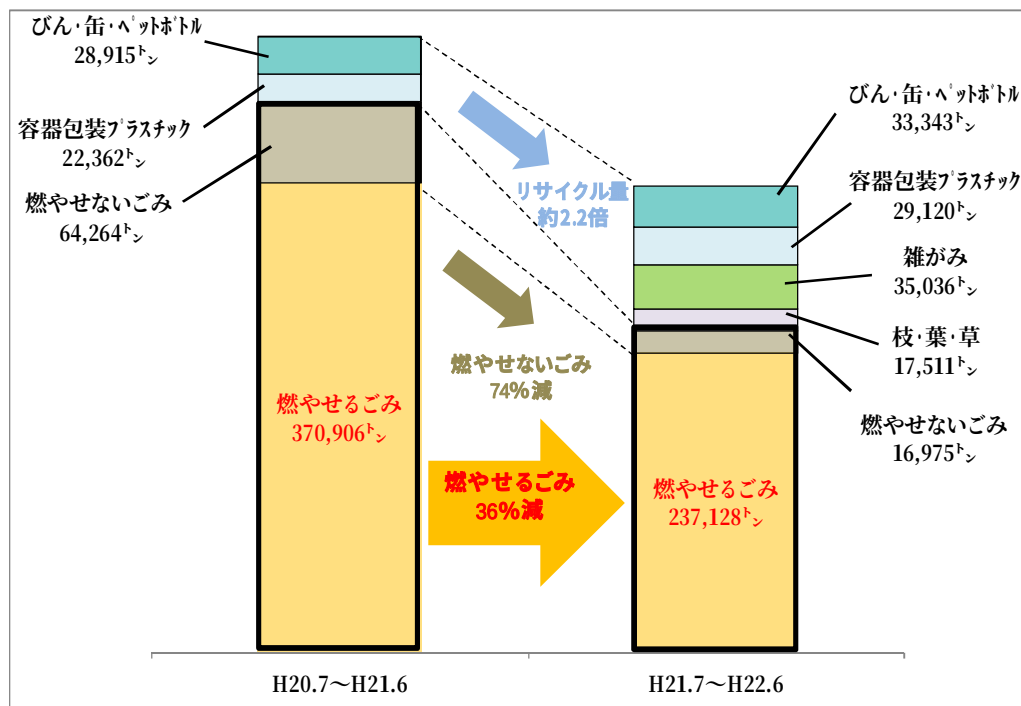
また、「びん・缶・ペットボトル」は15%増、「容器包装プラスチック」は30%増となっており、「枝・葉・草」「雑がみ」を合わせた資源物の収集量は2倍以上となっています。

(1) 「新ごみルール」以降の収集ごみ量（平成21年7月～平成22年6月）

ごみ種別		H20.7～H21.6	H21.7～H22.6	対前年同時期比
廃棄ごみ量	燃やせるごみ	370,906トン	237,128トン	64% (▲36%)
	燃やせないごみ	64,264トン	16,975トン	26% (▲74%)
	大型ごみ	11,144トン	9,477トン	85% (▲15%)
	廃棄ごみ計（A）	446,314トン	263,580トン	59% (▲41%)
	1人1日当たり廃棄ごみ（g）	649g	388g	60% (▲40%)
資源物	びん・缶・ペットボトル	28,915トン	33,343トン	115% (+15%)
	容器包装プラスチック	22,362トン	29,120トン	130% (+30%)
	枝・葉・草	—	17,511トン	—
	雑がみ	—	35,036トン	—
	資源物計（B）	51,277トン	115,010トン	224% (+124%)
収集ごみ量計（A）＋（B）		497,591トン	378,590トン	76% (▲24%)

※ ごみ量の端数は四捨五入としたため、合計数値とその内訳の計とが一致しない場合があります。

(2) 「新ごみルール」以降の収集ごみ量の推移（平成21年7月～平成22年6月）



※ 大型ごみ、地域清掃ごみ、管路ごみを除く。

2. 「新ごみルール」開始後の課題とその対応

(1) 「雑がみ」に混入した主要古紙の集団資源回収への誘導

主要古紙類の混入に伴う選別作業効率の低下、「雑がみ」収集量の増加などに対応するため、「雑がみ」選別能力の増強を行い、平成 21 年度では、製紙原料に約 6 割、固形燃料の原料に約 4 割リサイクルされましたが、平成 22 年 4 月以降は、製紙原料が約 7 割、固形燃料の原料が約 3 割となっています。

さらに、安定的な処理体制を構築するため、古紙回収拠点の拡充や集団資源回収への誘導策を実施します。

集団資源回収への誘導策

- 集団資源回収の回収業者への奨励金について、段ボール・布類の奨励金単価を 1 円/kg から 4 円/kg に増額し、集団資源回収への誘導を強化しました。

<参考>～ 平成 22 年度の資源回収奨励金 ～

- ◆ 実施団体（町内会、PTA など）への奨励金額：3 円/kg（据え置き）
- ◆ 回収業者への奨励金額（平成 22 年 7 月分から対象）
 - ・段ボール、布：1 円/kg ⇒ 4 円/kg（3 円増額）
 - ・雑誌、紙パック、びん類、金属類：1 円/kg（据え置き）
 - ・新聞紙：1 円/kg ⇒ 0 円/kg（1 円減額）

(2) 生ごみ減量に向けた取り組み

「新ごみルール」以降、「燃やせるごみ」に占める「生ごみ」の割合は約 48% となっており、さらなる「燃やせるごみ」の減量を目指し、以下の生ごみの減量・資源化の取り組みについての支援を行っています。

生ごみ減量・水切り宣言

宣言者数（7 月 9 日現在）

合計：5,317 世帯 13,738 人

・団体の宣言：91 団体

3,782 世帯 9,675 人

・個人の宣言：1,535 世帯 4,063 人

生ごみ堆肥化普及・促進

○ 生ごみ堆肥化セミナー（7 月 9 日現在）

生ごみ堆肥化セミナーを年 40 回程度開催し、セミナー参加者に堆肥化基材を配布。

これまでの参加人数：407 人（11 回開催）

(3) 家庭ごみ収集日カレンダーの改善

平成22年10月以降の収集日カレンダーについて、札幌市立大学にデザインの研究委託をし、4月26日に開催した懇談会においても検討を行い、デザイン・配布方法を変更することとしました。

改善点

- ・ 1枚に1地区のみ掲載
- ・ 文字をさらに大きく
- ・ 収集日ごとにごみ種を掲載
- ・ 13カ月分をA3版表裏2面に
- ・ 分別方法ワンポイントアドバイスの掲載
- ・ 町内会等による配布

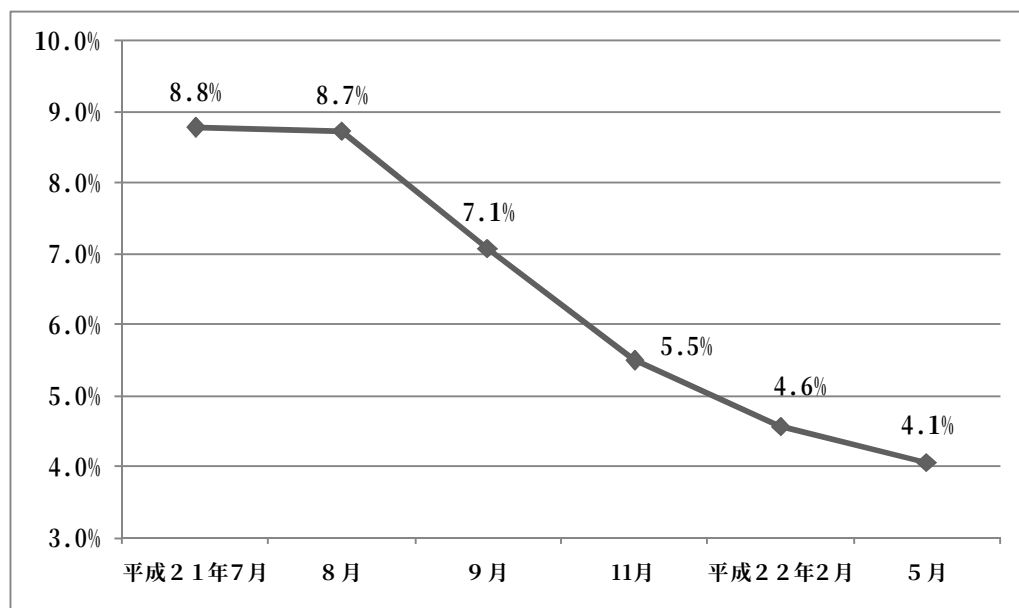


(4) ごみステーション対策

不適正排出の割合は減少しており、「新ごみルール」は市民に着実に定着してきています。

さらに改善していくため、ごみステーション管理の支援やさっぽろごみパト隊による指導などを継続するとともに、今後の収集方式のあり方などについて、調査・研究を行います。

○ 全ごみ種の不適正排出の割合



※不適正排出とは、「曜日・分別違いのもの」などを指します。

○ ごみ種別の不適正排出の割合

ごみ種	平成21年				平成22年	
	7月	8月	9月	11月	2月	5月
燃やせるごみ	4.9%	5.0%	4.8%	3.1%	2.5%	2.7%
燃やせないごみ	31.4%	25.8%	17.5%	7.0%	5.9%	4.4%
びん・缶・ペットボトル	11.3%	10.2%	9.2%	7.6%	5.5%	4.8%
容器包装プラスチック	7.9%	8.8%	6.1%	6.2%	5.4%	4.4%
雑がみ	11.9%	9.8%	9.5%	6.2%	5.7%	5.5%
枝・葉・草	11.8%	9.1%	4.9%	4.6%	-	4.3%
全ごみ種	8.8%	8.7%	7.1%	5.5%	4.6%	4.1%

※1 ごみ種別の不適正排出の割合の算出方法

例)「燃やせるごみ」の場合:「燃やせるごみ」の不適正排出の袋数/「燃やせるごみ」の総排出袋数

※2 平成21年7月～平成22年5月に実施した収集車による排出状況サンプル調査(袋数)の結果

○ 家庭ごみ収集方法等に係る調査研究

ごみ収集やごみステーションなどに関する課題に対応していくために、札幌市と財団法人地方自治研究機構が共同で「家庭ごみ収集方法等に関する調査研究委員会」を設置して、収集方法の改善による方策及びその他の方策について、調査研究を行います。

- ・他都市へのアンケート調査及び現地調査
- ・ごみ収集やごみステーションに関する市民意識調査
- ・各種収集方式(ステーション方式、小規模ステーション方式、戸別収集方式)の比較調査(シミュレーション調査) など

(参考資料)

資料1 ごみステーション管理器材の購入助成状況

年度	ごみ飛散防止ネット	カラスよけサークル	助成金額
平成20年8月～平成22年6月末	12,776枚	9,458基	72,371,700円
平成20年度	7,227枚	3,145基	30,705,100円
平成21年度	4,179枚	4,527基	29,518,200円
平成22年度	1,370枚	1,786基	12,148,400円

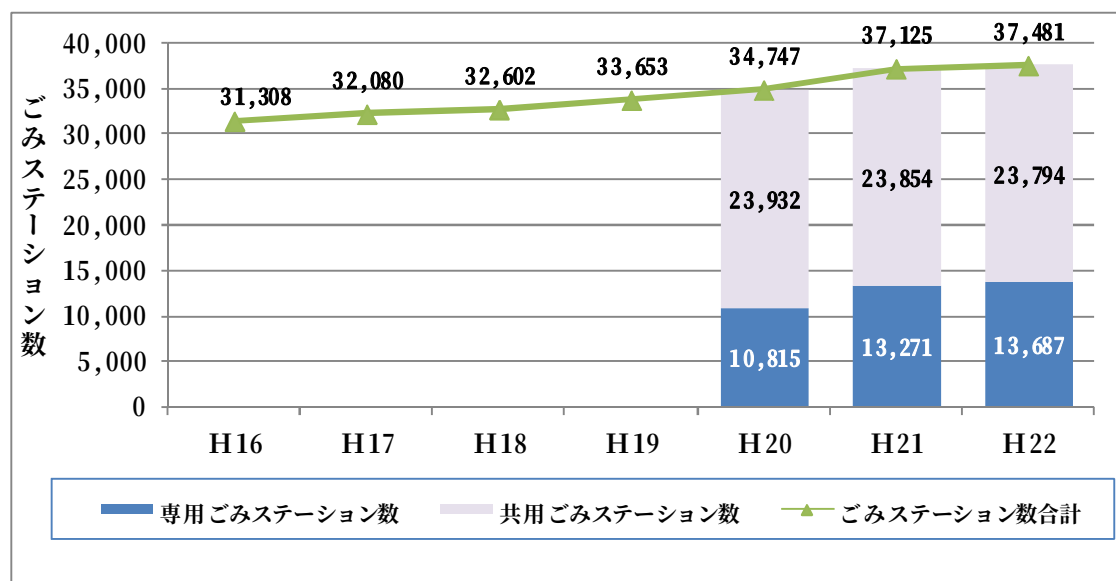
※平成22年度は6月末現在

資料2 箱型ごみステーション設置費助成状況

年度	申し込み件数	助成金額
平成21年12月～平成22年6月末	675件	7,608,400円
平成21年度	322件	3,751,800円
平成22年度	353件	3,856,600円

※平成22年度は6月末現在

資料3 ごみステーション数の推移



※平成22年度は5月末現在

協議会におけるマナー改善の取組状況

1. 札幌市共同住宅ごみ排出マナー改善対策連絡協議会の取組経過

協議会の概要

- 平成21年2月設立
- 協議会の目的（協議会規約第1条）

この協議会は、札幌市、不動産関係団体、共同住宅の管理会社及び共同住宅の賃貸に関するあっせん・仲介業者等が、共同住宅居住者（以下「居住者」という。）へのごみ排出ルール の周知及び不適正排出の防止等に係る方策について情報交換及び連絡調整を行い、相互に連携して実効性ある取り組みを行うことにより、居住者の排出マナーの向上を図り、以って良好な居住環境の確保を図ることを目的とする。
- 協議会会員（不動産関係6団体、共同住宅管理会社等3社）

（社）高層住宅管理業協会北海道支部、札幌市アパート業協同組合、（社）全国賃貸住宅経営協会北海道支部、（社）全日本不動産協会北海道本部、（社）北海道宅地建物取引業協会、（社）北海道マンション管理組合連合会、（株）アパマンショップリーシング、（株）常口アトム、（株）ビッグサービス、札幌市
- 賛助会員数48（不動産管理会社など）

これまでの主な取組

- ごみの適正排出を呼びかけるPRチラシの作成、配布
- ごみステーションの巡回パトロール及び普及啓発品の配布
- 「箱型ごみステーション敷地内設置費助成事業」等、ごみ排出マナー改善にかかわる札幌市の事業を関連企業等にPR
- 市内29物件を対象とする脱・ごみ箱化プロジェクトの実施

2. 脱・ごみ箱化プロジェクトの実施結果

取組の概要

- 対象物件 29件
- 取組期間 平成21年12月～翌年3月（物件により、期間は異なる。）
- 主な取組の内容
 - ・ 開封調査（排出者が特定できた場合には個別指導）
 - ・ 違反内容を詳細に記した張り紙を、×シールに加えて張る
 - ・ のぼり・啓発物の掲出
 - ・ ごみパト隊によるパトロール
 - ・ チラシのポスティング 等

開封調査の結果（不適正排出の状況）

その他 1 % (36 袋)
有料指定袋を使用していない
11 % (497 袋)
分別していない
35 % (1,567 袋)
収集日違い 53 % (2,328 袋)

不適正排出の内訳は、
対象物件それぞれで、
偏りが見られた。

※調査したごみ袋4,428袋の集計

争 佈 倥報 親

○チラシの投函・掲示、早朝・夜間のパトロール、のぼりの設置等を一定期間に集中して実施。

○同じ方法を繰り返し行うのではなく、異なる方法で排出ルールを周知。

共同住宅居住者の排出マナー改善に向けた具体的対策

収集日を守らない場合の対策例

- チラシ等の掲示やポスティング
 - ・収集日を分かりやすく記載
 - ・「月めくり」の収集日カレンダー
 - ・拡大して文字を大きくした収集日カレンダー
- 共同住宅の建物または敷地内に「ごみ保管庫」を設置

指定袋を使用しない・分別しない場合の対策例

- チラシ等の掲示やポスティング
 - ・指定袋の使用やごみの分別方法をわかりやすく記載
- ごみステーション内に仕切りなどを設け、ごみ種や収集日ごとにスペースを区分
 - ・ルール違反のごみ排出を防ぐために、ごみステーションを整理された状態に保つ

札幌市の主な対策

- ごみ排出ルールの周知（分別して、収集日当日の朝、8時30分までに排出）
- ごみパト隊等による早朝・夜間パトロール、開封調査、排出指導
- ごみ分けガイドなど、パンフレット・チラシの配布
 - ・区役所での市内転入手続きの際に収集日カレンダーを配布
 - ・大学等にチラシを送付して学生への周知を依頼
- 箱型ごみステーション設置費用の助成
- 「ごみカレ」（メールでごみ収集日を知らせる民間サービス）をホームページでPR

共同住宅の管理者、あっせん・仲介者等の主な対策

- 居住者へのごみ出しルールの周知
 - ・あっせん・仲介時の、「収集日カレンダー」等の配布
 - ・居住者へのチラシ等のポスティング

プロジェクトでは、実践したチラシ配布やポスター掲示等の中にマナー改善に効果的な工夫例があった一方、管理会社・清掃事務所が協力して排出指導に取り組んだものの、改善と悪化を繰り返す、あるいは改善されないケースが多かった。

これらのケースを含め、ごみ排出状況に課題がある物件については、プロジェクトでの実践例も参考にしながら、管理会社と清掃事務所が連携して、個別にマナー改善に取り組むことが必要である。

3. ごみステーションの使用法の工夫例

取組み開始前の状況

- 不法投棄や違反排出が絶えず、ごみパト隊が違反ごみの開封調査を実施したところ、入居者の違反ごみ以外にも通りがかりの方による排出もあったことが判明。
- ごみSTに、たくさんのごみが入っているため、下のほうのごみは収集できず、収集作業にも支障をきたしていた。
- 夏場には、非常に不衛生な環境となることが予測される状態。



ごみ出しルールの周知

- 管理会社が入居者にチラシをポスティング。
- 建物内の目立つ場所にチラシを掲出。
- 左側は、指定袋を使用する「燃やせるごみ」・「燃やせないごみ」用、右側はその他の資源物用として、ごみ種によって、排出場所を区別。
- 毎日、ごみパト隊が訪問し、前日に排出された違反ごみは収集し開封調査を実施当日排出された違反ごみには、×シールを張って残置（ごみは左右に振り分けて残置した）。



その後の排出状況

- 約1カ月程度、継続して排出ルールの周知を図ることにより、ほとんどのごみが左右に分けて排出されるようになった。
- 当初見られた、通りがかりの方による排出もなくなった。整理整頓されているごみSTには、違反ごみは排出しにくいものと考えられる。
- 若干の違反排出はあるが、取組み開始前のように、ごみが溢れ出す状態にはならなくなった。



4. 賛助会員の状況

賛助会員アンケート結果

問：ごみ排出マナーの改善に向けて実施していること

実施していない
6.3%

実施していない
39.6%

実施している
93.8%

実施している
60.4%

実施していない
41.7%

実施している
58.3%

その他に実施していること
・ごみステーションの清掃
・排出ルールの特ラシの掲示

会員数 48 (H22.9 現在)

賛助会員から寄せられた意見など

- ・単身者や若者の中には、戸別に配布されているごみカレンダーを見ない人もいると思われるので、ごみステーションへの掲示も必要だと思う。
- ・専用ステーションへの入居者以外の人からの排出もあり、マナーが徹底できない。
- ・2週間に1度実施しているごみステーションの清掃の直後は、雑に扱いつらいためののか、一時的にきれいな状態になる。
- ・既存物件で専用ステーションを設置するスペースを取ることができない。 など